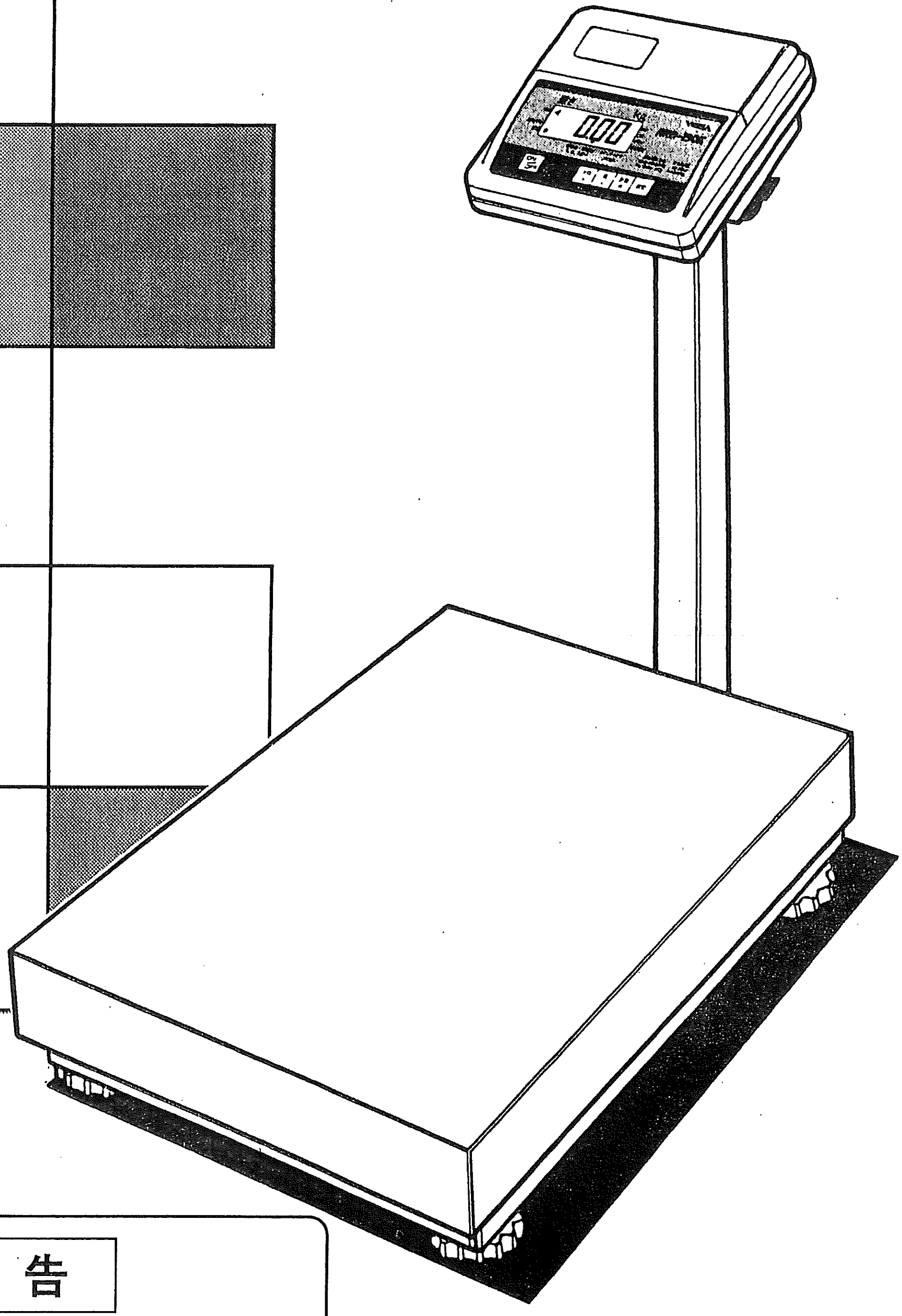
デジタル重量台秤

ARB-30K・150K

取扱い説明書



⚠ 警　告

- この説明書を読み、理解するまでは、据付、操作および保守・点検を行わないでください。
- この説明書は、機械の据付、操作および保守・点検を行う場合、いつでも調べられるように大切に保管してください。

VIBRA

はじめに

このたびは、ＡＲＢ-３０Ｋ·１５０Ｋをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ＡＲＢ-３０Ｋ·１５０Ｋは、２つのひょう量切替えができる防水デジタル重量台秤です。
重量検品に威力を発揮するチェッカー機能や、カウンティング機能を持ち、幅広くご利用いただけます。
当製品の機能や使用方法を十分にご理解いただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書をお読みください。
なお、この取扱説明書は保証書とともに大切に保管してください。

目次

1．ご使用になる前に ······ 1～2
2．計量のしかた ······ 3
3．チェッカー機能 ······ 4～5
4．カウンティング機能 ······ 6
5．電池交換のしかた ······ 7
6．故障かな？と思ったら ······ 8
7．標準仕様 ······ 9

おねがい

●本書の内容の無断転載を禁じます。

●製品の改良により、仕様や外観を変更することがありますので、ご了承ください。

●本書でご不明な点や誤りなどお気づきの点がございましたら、弊社までご連絡ください。

●機器・システムの本体トラブルについては、個々のメンテナンス契約に準じた対応をさせていただきますが、本体トラブルによる作業ストップ等の副次的トラブルについては、その責任を負いかねますのでご了承ください。

新光電子株式会社
1995年

1．ご使用になる前に

ご使用上の注意

1．精密機械ですから、急激なショックを与えないでください。

2．計量皿に物をのせたまま放置しないでください。

3．故障のもとになりますから、絶対に分解しないでください。

4．下記の場所でのご使用は避けてください。
　(a) 温度変化の激しい所
　(b) 直射日光の当たる所
　(c) 湿度の高い所
　(d) ほこりの多い所
　(e) 強い風が当たる所
　(f) 不安定な台や振動の激しい所

5．長時間ご使用にならないときは、電池を取り外してください。

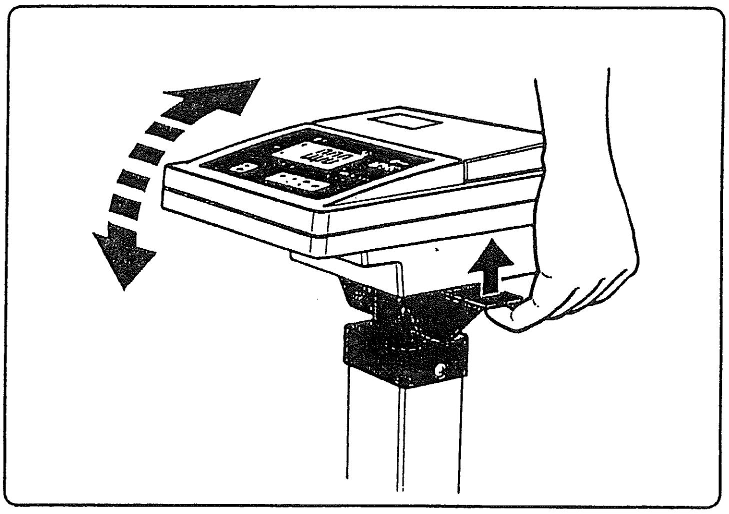
6．本体は必ず水平にしてご使用ください。

7．本体のお手入れは、柔らかい布でから拭きするか、中性洗剤をご使用ください。シンナーなどは絶対使用しないでください。

8．持ち運びの際は、必ずハカリ部を持って運んでください。表示部や支柱だけを持って動かさないようにしてください。

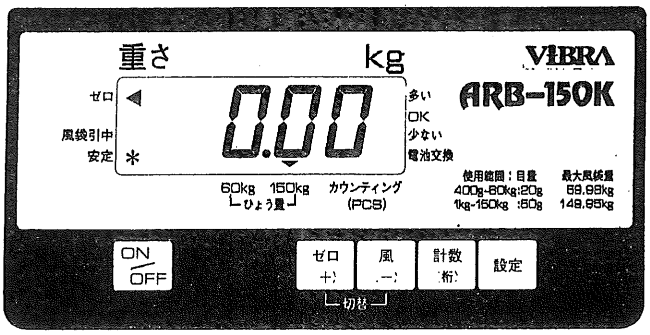
表示部の角度調節

図のようにレバーを引き上げながら、
表示部を見やすい角度に調節し、レバーを下ろします。

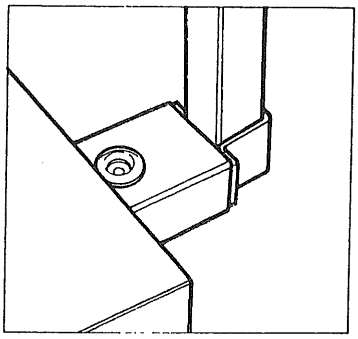


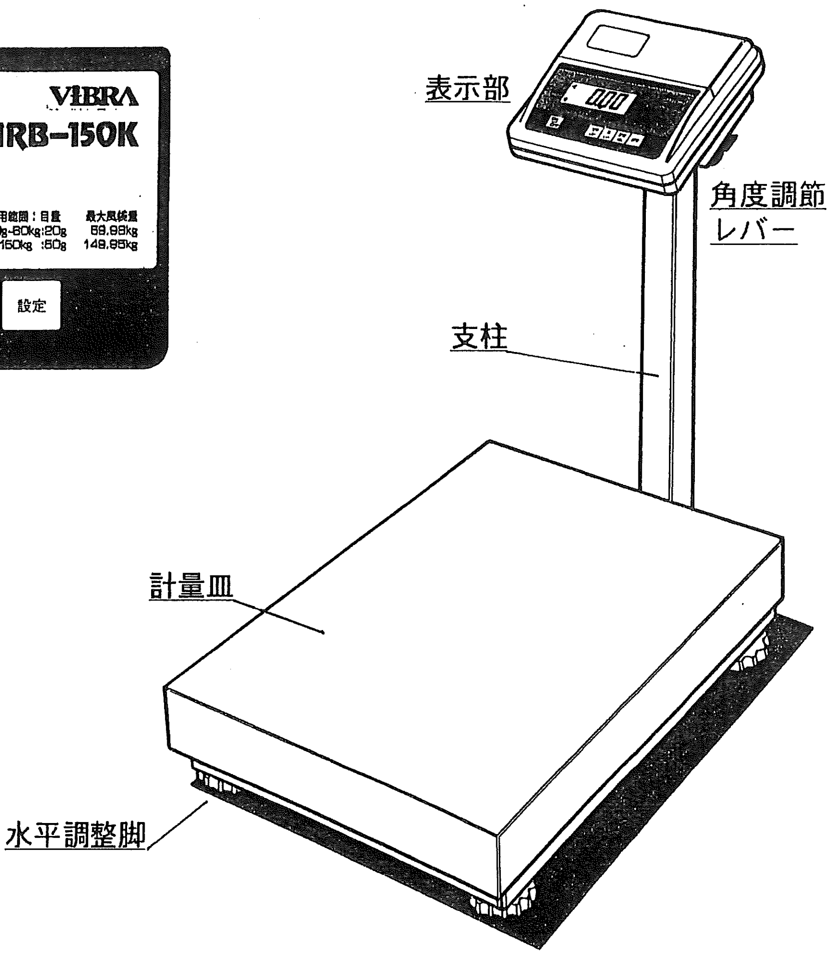
各部の名称

表示部



水平器の位置





各キーのはたらき

ON / OFF

【ＯＮ】⇨電源を入れます。
【ＯＦＦ】⇨電源を切ります。

ゼロ (＋)

【ゼロ】⇨ゼロ点を補正し、表示を「０」にします。
【 ＋ 】⇨上下限値を設定する時、数字をアップします。

風 (－)

【 風 】⇨風袋引きをします。風袋をのせてからキーを押します。
【 － 】⇨上下限値を設定する時、数字をダウンします。

ゼロ (＋)　風 (－)　└切替┘

【切替】⇨２つのキーを同時に押すと、ひょう量の切替えを行います。

計数 (桁)

【計数】⇨カウンティングモードに切替えます。カウンティングモードで単位重量を設定する時、サンプル数を切替えます。
【 桁 】⇨上下限値を設定する時、桁を移動します。

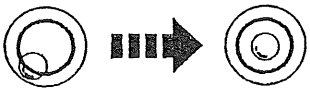
設定

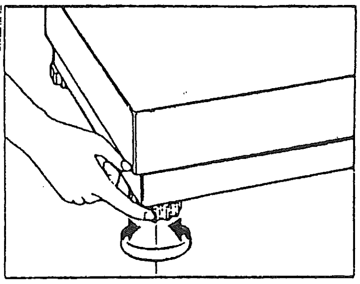
【設定】⇨①上下限値を設定する時、使用します。
②カウンティングモードで単位重量を設定する時、使用します。

2. 計量のしかた　【計量モード】

1. 計量の準備

安定した床面または台にのせ、水平器の気泡が丸穴の中心に入るよう、4ヶ所の水平調整脚を回して調整してください。





計量皿に何ものっていないことを確認してください。

2. 電源を入れます

ON/OFF

ゼロ ◀　0.00　＊ ▼ 150kg

ゼロ点マーク（◀）を確認してください。

表示されていない時は、 ゼロ を押してください。

参考 ・ひょう量は、電源を切る前に使用していたひょう量に自動設定されます。

3. ひょう量を切替えます

ゼロ　風　（同時に押します）

切替

ゼロ ◀　0.00　＊ ▼ ⇦▽　60kg 150kg

・ひょう量と最小表示が切替わります。　〈ひょう量マーク移動〉

注意 ・ゼロ点以外のとき、または風袋引中はひょう量の切替えはできません。

4. 風袋引きをします

風袋を計量皿にのせ、

風

ゼロ ◀　風袋引中 ◀　0.00　＊ ▼

〈風袋引中マーク表示〉

・**風袋引き解除**　⇨計量皿に何ものっていない状態で 風 を押します。

5. 計量を行います

計量物を計量皿にのせます。

◀　50.25　安定 ＊ ▼

安定マーク（＊）を確認してから、計量値を読みとってください。

3. チェッカー機能 【上・下限値設定モード】

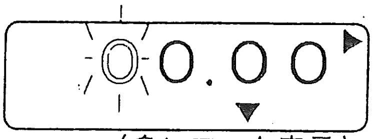
～上・下限値を設定して、重量チェッカーとしてご利用いただけます。

1．上・下限値を設定します

参考 ・上・下限の設定値は、電源を切っても記憶しています。
ただし、ひょう量切替えを行った場合、設定値はクリアされます。

注意 ゼロ点を確認し、風袋引中になっていないか、確認してください。
（ゼロ点以外のとき、または風袋引中はモード切替えできません。）

設定



多い

〈多いマーク表示〉

1）上限値を設定します。

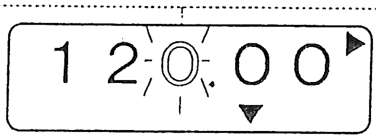
点滅している桁の数字を設定します。

ゼロ(+) 風(−) で数字が１づつアップ・ダウンします。

> 一番左の桁は、０～１４の数字を設定できます。
> 一番右の桁は、最小表示に応じた設定をします。
> 最小表示により〈０→２→４→６→８〉〈０→５〉と数字が替わります。

計数(桁)

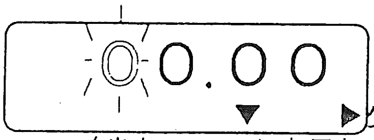
数字の点滅は右の桁へ移動します。



多い

上限値を設定したら、

設定



少ない

〈少ないマーク表示〉

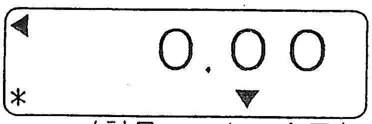
参考 ・設定値がひょう量以上の場合、
設定前の表示に戻りますので、上限値を再設定してください。

2）下限値を設定します。（上限値の設定と同様）

下限値を設定したら、

設定

《設定完了》



〈計量モードの表示〉

注意 ・上限値より下限値が大きい場合は、下限値は設定前の表示に戻ります。
下限値を再設定してください。

参考 ・上限値、下限値どちらかのみの設定も可能です。
・下限値もひょう量以上の設定はできません。

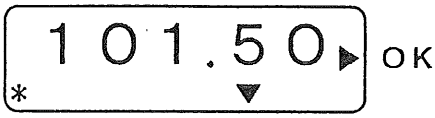
２．計量を行い、重量チェックします

（例：上限値１０５kg／下限値１００kgと設定した場合）

計量物を計量皿にのせます。

ａ）**下限値 ≦ 計量値 ≦ 上限値**

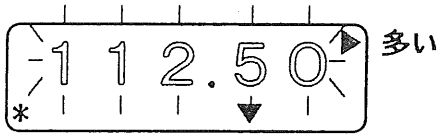
（計量値が設定範囲内のとき）



⇨ＯＫマーク（▶）が表示され、
そのまま重量が表示されます。

ｂ）**計量値 ＞ 上限値**

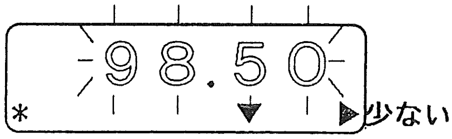
（計量値が上限値を上回ったとき）



⇨多いマーク（▶）が表示され、
表示全体が点滅してお知らせします。

ｃ）**計量値 ＜ 下限値**

（計量値が下限値を下回ったとき）



⇨少ないマーク（▶）が表示され、
表示全体が点滅してお知らせします。

３．上・下限値の設定を解除する場合

チェッカーとしてご使用にならない時は、

４ページの操作で、上・下限の設定値をともに「０」にしてください。

4. カウンティング機能

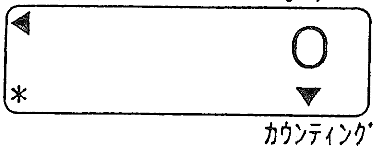
【カウンティングモード】

〜ワンタッチ切替で、カウンティングスケールとしてもご利用いただけます。

1．カウンティングモードに切替えます

注意 ゼロ点を確認し、風袋引中になっていないか、確認してください。
（ゼロ点以外のとき、または風袋引中はモード切替えできません。）

[計数]

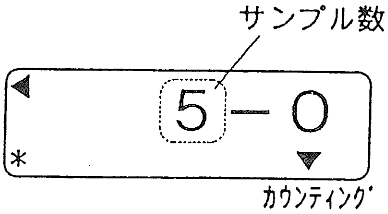


・再度「計数」を押すと、計量モードの表示に戻ります。

2．単位重量を設定します

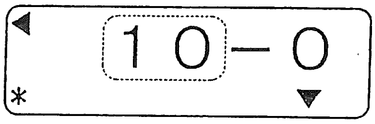
カウンティングモードに切替え、

[設定]



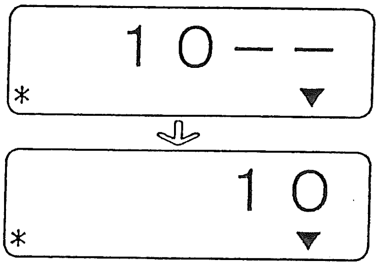
・「計数」を押すと、サンプル数が替わります。
（5→10→20→50の4種類）

[計数]



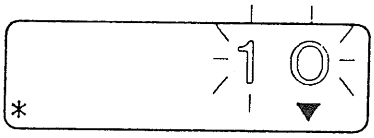
表示されているサンプル数と同数（この場合は10個）の計数物を計量皿にのせ、

[設定]



《設定完了》

注意
・この時、点滅表示したら、
単位重量＜最小表示であり、
正確な計数はできません。

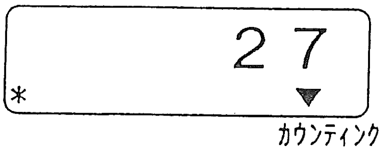


・サンプルをのせずに「設定」を押すと、設定されていた単位重量は、クリアされます。

参考
・設定した単位重量は更新しない限り、電源を切っても記憶しています。
ただし、ひょう量を切替えるとクリアされます。
・サンプル数を多くすると、計数誤差は少なくなります。

3．計数を行います

計数物を計量皿にのせます。
⇨個数が表示されます。

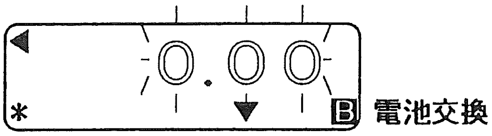


5. 電池交換のしかた

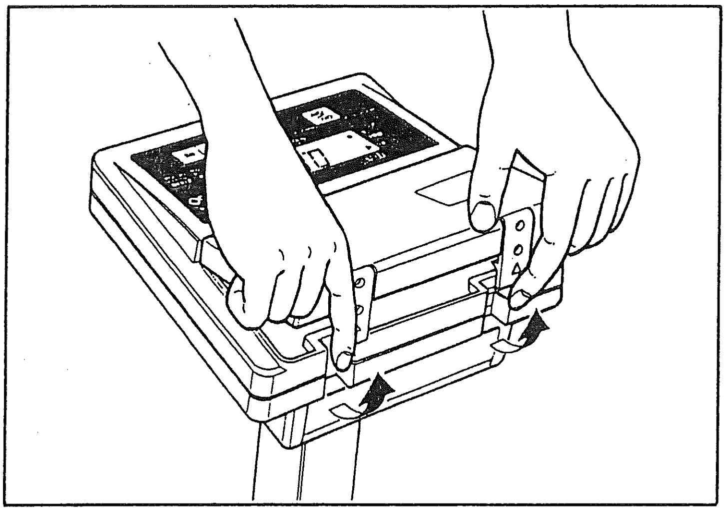
〜🅱マークが表示されたら、電池を交換してください。

電源は、乾電池（単１形×６本）を使用します。

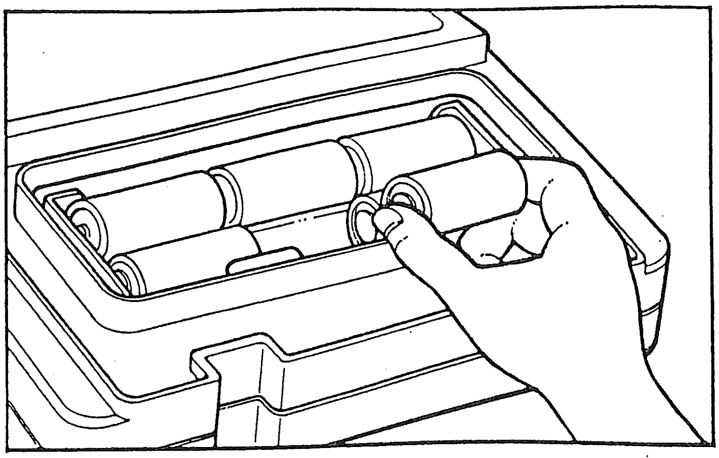
電池がなくなると🅱マークが表示され、表示全体が点滅します。
電池を交換してください。



注意 ・🅱マークのまま使用すると計量誤差となるおそれがあります。
そのまま使用しないでください。



⇨図のように表示部後部の２ヶ所を指で引き上げて
カバーを取り外します。



⇨電池を交換します。

注意 ・乾電池は、種類が違うものや、新しいものと古いものを混ぜて
ご使用にならないでください。

6. 故障かな？と思ったら…

● [ON/OFF] を押しても、表示がつかない

⇒乾電池が正しく入っているか、確認してください。
⇒古い電池を使っていないか、確認してください。

● [ON/OFF] を押した時、表示チェック後、「0」表示にならない

⇒ハカリを安定した床面または台にのせてください。
⇒ハカリの上に物がのっていないか確認してください。
⇒水平調整脚が浮いていないか確認してください。
⇒強い風が直接当たらない場所に置いてください。

● 重さ表示がチラチラ変わる

⇒ハカリを安定した床面または台にのせてください。
⇒水平調整脚が浮いていないか確認してください。
⇒強い風が直接当たらない場所に置いてください。
⇒商品が支柱にさわっていないか確認してください。

● カウンティングモードで、個数が点滅表示する

⇒1個の重さが計数可能重さ以下です。
計数誤差がでるおそれがありますので、使用しないでください。

● ひょう量切替えができない

● [設定] を押しても、上・下限値設定モードの表示にならない

● [計数] を押しても、カウンティングモードの表示にならない

⇒ゼロ点マーク（◀）を確認してください。
表示されていないときは [ゼロ] を押してください。
⇒風袋引中でないか確認してください。
風袋引中マーク（◀）が表示されているときは、[風] を押し、解除してください。

7. 標準仕様

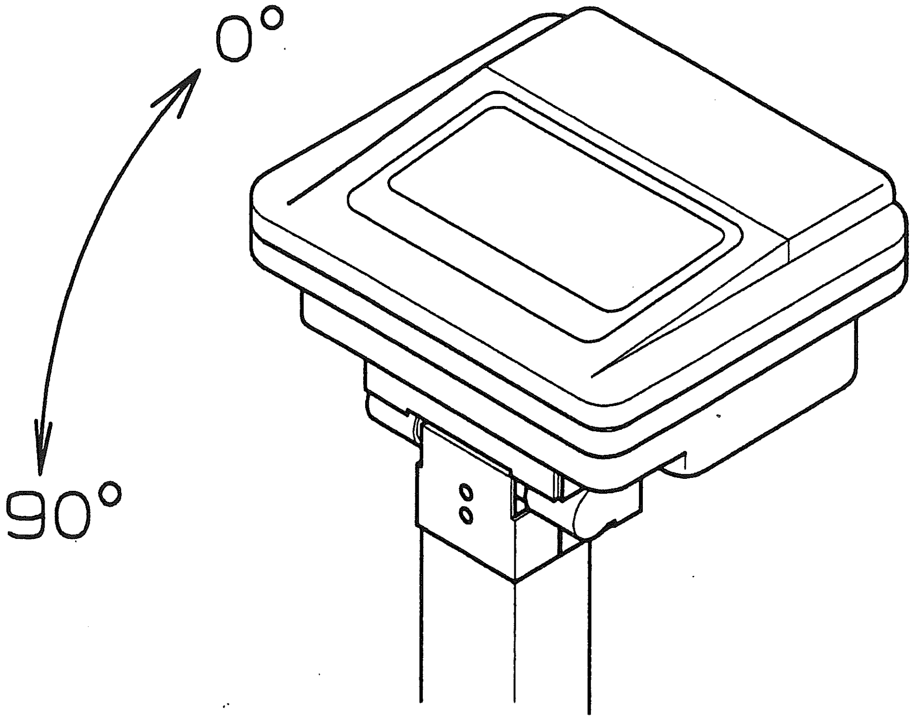
型　　式	ＡＲＢ－１５０Ｋ	ＡＲＢ－３０Ｋ
計量方式	電気抵抗線式	
ひょう量	１５０kg ６０kg	３０kg １５kg
	切替操作により任意選択可能	
最小表示	150kg ⇨ ５０ｇ（0.05kg） 60kg ⇨ ２０ｇ（0.02kg）	30kg ⇨ １０ｇ（0.01 kg） 15kg ⇨ ５ｇ（0.005kg）
計量皿寸法	幅350mm×奥行500mm	幅330mm×奥行310mm
表示方式	液晶表示	
表示内容	重量（個数）　５桁 ゼロ点マーク（◀） 風袋引中マーク（◀） 安定マーク（＊） チェッカーマーク（▶）　［多い・ＯＫ・少ない］ 電池交換マーク（🅱） ひょう量マーク（▼） カウンティングモードマーク（▼）	
風袋引き範囲	150kg ⇨ 149.95kgまで 60kg ⇨ 59.98kgまで	30kg ⇨ 29.99 kgまで 15kg ⇨ 14.995kgまで
防水等級	ＪＩＳ３等級準拠	
本体重量	１８kg （電池の重量を含む）	１１kg （電池の重量を含む）
消費電力	Ｍａｘ　０.０７Ｗ	
使用電源	乾電池　単１形（R20）×６本 （マンガン電池で、連続約１０００時間ご使用いただけます）	

仕様変更のお知らせ

この度、ＡＲＸ・ＡＲＢシリーズの機能アップのため、表示部を支持する
回転ブラケットの仕様を変更致しました
従いまして、取扱い説明書　Ｐ１下部を、訂正致します

表示部の角度調節

表示部を見やすい角度に調整します



本機AR X/B を使用する前に行う項目

【1】『なぜ地区設定を行うのか？』

緯度･経度や海抜高度の差による重力加速度(G)の影響によって、ハカリの数値も多少かわります。
地域による補正を行う事で、より正しく量れます。

当器物の出荷時での地区設定値は【 - 9　10 】になっております。

- 9	10	神奈川、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知、三重、滋賀、大阪、兵庫、奈良、和歌山、岡山、広島、山口、徳島、香川

上記以外の地区でお使いのときは　裏面の［使用地区の設定変更］に従って該当の値に変更下さい。

表示部　CA - 9

表示数値

【2】表示数値と該当する使用地区との関係

表示数値	地区番号	使　用　地　区
- 0	1	北海道（宗谷、留萌、網走、根室、釧路、支庁管内）
- 1	2	北海道（上川、空知、石狩、後志内、支庁管内）
- 2	3	北海道（檜山、十勝、日高、胆振、豊島、支庁管内）
- 3	4	青森
- 4	5	岩手、秋田
- 5	6	宮城、山形
- 6	7	福島、茨城、新潟
- 7	8	栃木、富山、石川
- 8	9	群馬、埼玉、千葉、東京、福井、京都、鳥取、島根
- 9	10	神奈川、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知、三重、滋賀、大阪、兵庫、奈良、和歌山、岡山、広島、山口、徳島、香川
- A	11	愛媛、高知、福岡、佐賀、長崎、大分、八丈支庁管内
- b	12	熊本、宮崎
- C	13	鹿児島
- d	14	小笠原支庁管内
- E	15	鹿児島名瀬市、大島郡
- F	16	沖縄

※使用地区の地区番号と地域区分は計量法によって定められています。

使用地区の設定変更

表示	説明
88888	全点灯　［ゼロ(+)］［風(-)］を押しながら［ON/OFF］キーを押し
（消灯）	全消灯　表示が消えてから［ON/OFF］キーを放し　［ゼロ(+)］［風(-)］キーを放す

① CR-9　［使用地区を選択するモード］

現在の選択値

［ゼロ(+)］キーを押す毎に表示値が変る。
対応とする表示に成るまで押し進める

↓［計数(桁)］

② G-1.0　［スパン調整時での秤量値を選択するモード］

とばして先へ進む。［計数(桁)］

↓［計数(桁)］

③ 2118　［A／Dｺﾝﾊﾞｰﾀ　生データの表示］

とばして先へ進む。［ゼロ(+)］

↓［ゼロ(+)］

④ 2121　［零点の記憶値を表示するモード］

計量皿に何も載って無いことを確認して　［ゼロ(+)］キーを押して下さい。

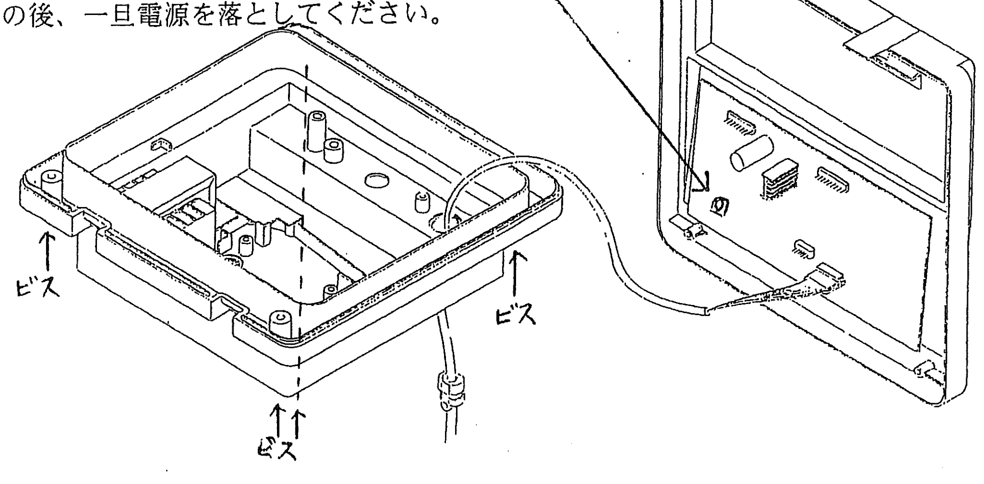
↓［ゼロ(+)］

⑤ 2000　［零点の再記憶］

表示器底部のビス４本を外し、スイッチを押します。

⑥ P-EP

押すとP－EPと表示され変更が終了します。
その後、一旦電源を落としてください。

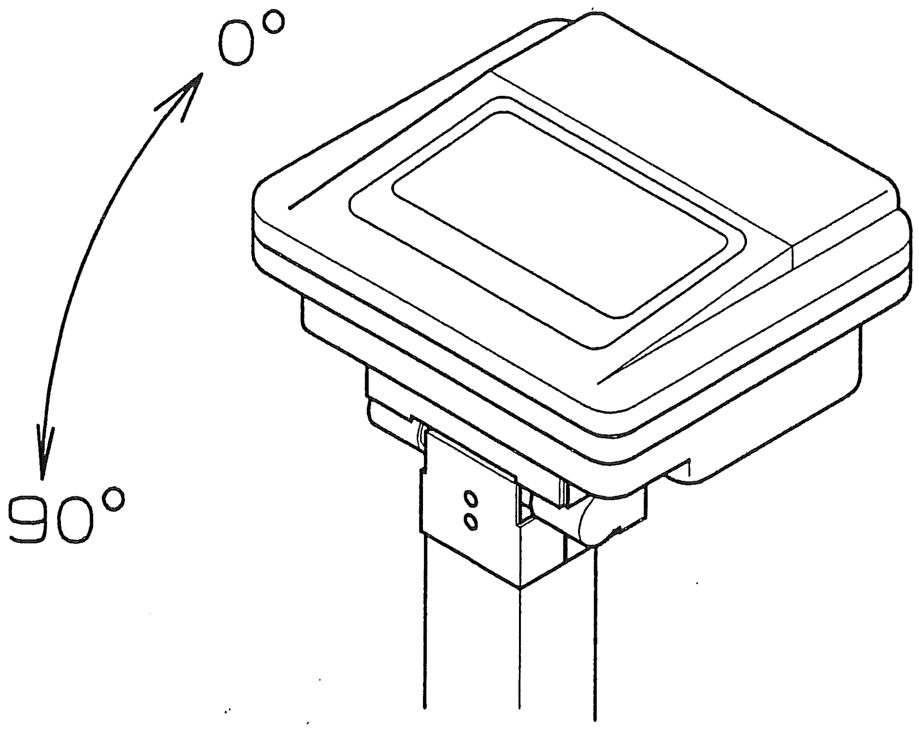


仕様変更のお知らせ

この度、ＡＲＸ・ＡＲＢシリーズの機能アップのため、表示部を支持する
回転ブラケットの仕様を変更致しました
従いまして、取扱い説明書　Ｐ１下部を、訂正致します

表示部の
角度調節

表示部を見やすい角度に調整します



64－5510－05

欠品有償
ソーキ

本機AR X/B を使用する前に行う項目

【1】『なぜ地区設定を行うのか？』

緯度･経度や海抜高度の差による重力加速度(G)の影響によって、ハカリの数値も多少かわります。
地域による補正を行う事で、より正しく量れます。

当器物の出荷時での地区設定値は【 - 9　10】になっております。

-9	10	神奈川、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知、三重、滋賀、大阪、兵庫、奈良、和歌山、岡山、広島、山口、徳島、香川

上記以外の地区でお使いのときは　裏面の［使用地区の設定変更］に従って該当の値に変更下さい。

表示部　CA-9

表示数値

【2】表示数値と該当する使用地区との関係

表示数値	地区番号	使用地区
-0	1	北海道（宗谷、留萌、網走、根室、釧路、支庁管内）
-1	2	北海道（上川、空知、石狩、後志内、支庁管内）
-2	3	北海道（檜山、十勝、日高、胆振、豊島、支庁管内）
-3	4	青森
-4	5	岩手、秋田
-5	6	宮城、山形
-6	7	福島、茨城、新潟
-7	8	栃木、富山、石川
-8	9	群馬、埼玉、千葉、東京、福井、京都、鳥取、島根
-9	10	神奈川、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知、三重、滋賀、大阪、兵庫、奈良、和歌山、岡山、広島、山口、徳島、香川
-A	11	愛媛、高知、福岡、佐賀、長崎、大分、八丈支庁管内
-b	12	熊本、宮崎
-C	13	鹿児島
-d	14	小笠原支庁管内
-E	15	鹿児島名瀬市、大島郡
-F	16	沖縄

※使用地区の地区番号と地域区分は計量法によって定められています。